

宣言内容	・高次脳機能障害のある方やその家族への相談支援、地域とのつながりづくり
取り組み期間・時期	家族会（青い空）の始まり 平成15年（2003年）3月に、高次脳機能障害のある方の家族6家族が集まり初会合を開催。以後、毎月の例会や会報発行を継続しています。 NPO法人としての設立 平成17年（2005年）6月に「NPO法人脳外傷友の会高知 青い空」設立総会を開催。 平成17年（2005年）10月20日にNPO法人として認証・法人格取得。
取り組みの概要	1. 高次脳機能障害当事者・家族支援 当法人は、高次脳機能障害のある方やそのご家族への支援を活動の原点として、相談支援、家族会運営、交流活動、普及啓発活動等に取り組んでいます。また、高知県高次脳機能障害支援拠点機関の運営や全国組織である日本高次脳機能障害友の会の活動を通じて、地域および全国の当事者・家族支援の充実に努めています。さらに、高次脳機能障害のある方が必要な支援を受けながら地域で安心して暮らせる社会の実現を目指し、制度改善に向けた提言活動を継続してきました。その結果、令和6年に高次脳機能障害者支援法が成立し、高次脳機能障害者への支援体制の充実や社会的理解の促進に向けた大きな前進につながりました。 2. 共生社会フォーラム（厚生労働省事業） 2018年から全国各地で開催されている厚生労働省「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」において、当法人理事長の片岡はワーキンググループメンバーとして全体企画や開催運営に参画しています。岡村・平谷もメンターとして参加し、参加者との対話を通じた共生社会づくりに取り組んでいます。2023年12月には高知県で開催された共生社会フォーラムの協力法人として運営にも参画しました。 3. バリアフリー演劇鑑賞会 障害の有無にかかわらず、誰もが文化芸術を楽しめる機会づくりを目的として、東京演劇集団風によるバリアフリー演劇の高知公演を継続して開催しています。「ヘレン・ケラー」（2022年）、「星の王子さま」（2024年）、「Touch ～孤独から愛へ～」（2024年）などを実施し、手話通訳、日本語字幕、音声ガイド等を備えた鑑賞環境を提供してきました。

	4. バリアフリー映画祭 「すべての人に映画を届ける」をテーマに、高知県ユカリノ映画祭などのバリアフリー映画祭を開催し、日本語字幕や音声ガイドを活用した鑑賞機会の提供を行っています 5. 障害者芸術文化活動支援事業 中国・四国ブロック広域センター「passerelle（パスレル）」の運営を通じて、障害のある人の文化芸術活動の支援、人材育成、ネットワーク構築、作品発表機会の創出などに取り組み、地域における文化芸術活動の推進を図っています。
--	--